

概要

山梨県内では、マイカーが通勤手段に占める割合が非常に高いため、マイカーから他の交通手段への通勤手段を転換を促すきっかけとする目的で、エコ通勤トライアルウィークを実施している。

平成25年度は12月に、マイカー通勤している人を対象に、勤務先を通じて、公共交通や徒歩、自転車など、他の交通手段での通勤にチャレンジすることを働きかけ、実施した。

実施期間 平成25年12月16日～22日

募集期間 平成25年11月5日～12月13日

募集チラシ・ワンコインエコチケット

エコ通勤トライアルウィーク 実施します!!

はじめませんか？ 人と環境にやさしいエコ通勤！

山梨県内では、8割以上の方がマイカーで通勤しています。マイカー通勤は便利ですが、頼りすぎる生活は、環境にも、健康にも、やさしくありません。

山梨県では、公共交通や徒歩、自転車など、環境にやさしい通勤手段に転換するきっかけづくりとして、12月16日から22日までの一週間、「エコ通勤トライアルウィーク」を実施します。

この機会に人と環境にやさしいエコ通勤をはじめませんか？

エコ通勤トライアルウィーク
12月16日～22日までの一週間、「エコ通勤トライアルウィーク」を実施します。

期間中は、マイカーの利用を控えて、公共交通機関や徒歩、自転車などによる通勤にチャレンジしてみてください。参加いただける方は、事業所単位で登録をお願いします。

ワンコインエコチケット
期間中、路線バスでの通勤にチャレンジする方に、1回100円で路線バスが利用できるワンコインエコチケットを発行します。

◆利用できる方 本事業の趣旨に賛同し、参加申込みした事業所の従業員
◆利用可能路線 山梨交通、山梨タクシー、富士急山梨バス
※(高速バス等一部路線を除く。詳しくは県HPに掲載)



主催 山梨県、山梨県交通政策会議 共催 関東運輸局山梨運輸支局、市町村
協力 (社)山梨県バス協会、バス事業者

実施内容

・参加企業には、従業員に対し、さまざまな手段でエコ通勤の必要性や、取り組みの方法について周知してもらうとともに、期間中、マイカーから他の通勤手段への転換にチャレンジするよう働きかけてもらった。

ステップ1 : エコ通勤をPR

対象：各事業所の従業員

内容：イントラネットやメール等での呼びかけ、事業所内への掲示、会議等での呼びかけ、マイカー通勤者への個別の働きかけなどで、エコ通勤をPRしてもらう。

・参加者には、マイカー以外の交通手段を利用して通勤にチャレンジしてもらうステップ2と、バス通勤にチャレンジしてもらうステップ3に、参加者の通勤環境に応じて取り組んでもらった。

ステップ2 : エコ通勤にチャレンジ

対象：現在マイカーで通勤している人

内容：徒歩や自転車、乗り合わせなど、マイカー以外の交通手段を使った通勤にチャレンジしてもらう。

ステップ3 : 路線バスによる通勤にチャレンジ

対象：現在マイカーで通勤していて、路線バスを利用可能な人

内容：バス通勤にチャレンジしてもらいます。

特典：バス通勤にチャレンジする人は、事前に参加登録してもらうことで、期間中、路線バスに1回100円で乗車可能な「ノーマイカーワンコインエコチケット」を発行する。

バス運賃の割引については、現在マイカーで通勤している者に限定

申し込み

申し込みと通勤方法の状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
29事業所	11,893人	9,167人

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は29事業所。
- ・参加事業所に勤務する11,893人のうち9,167人(77.08%)がマイカー通勤者。

ステップ1 各事業所によるエコ通勤PRの方法

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
16	20	21	13	2

- ・エコ通勤のPRは29箇所全ての事業所で実施。
- ・PRの方法は「メール・イントラネット」、「掲示物・職場回覧」、「会議・朝礼」など。

ステップ2 エコ通勤転換予定者数

単位：人

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
218	480	420	15	1,133

- ・マイカー通勤者9,167人のうち、1,133人(12.36%)がエコ通勤にチャレンジ予定。
- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は
 - 「徒歩通勤にチャレンジ」 218人(19.24%)
 - 「自転車通勤にチャレンジ」 480人(42.37%)
 - 「公共交通通勤にチャレンジ」 420人(37.07%)
 - 「その他のエコ通勤にチャレンジ」 15人(1.32%)
- ・「その他のエコ通勤」の15人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」。

ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット	実人数
1,256枚	213人

- ・期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は1,256枚。
- ・エコチケットを配付する実人数は213人で、公共交通通勤にチャレンジする者の50.71%に相当。

実績

参加事業所からの実績報告

単位：人

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
12月16日	113	284	98	91	586
12月17日	112	288	111	92	603
12月18日	114	238	121	104	577
12月19日	110	198	141	109	558
12月20日	125	241	135	99	600
12月21日	22	19	15	58	114
12月22日	21	17	14	59	111
合計	617	1285	635	612	3,149

肯定的な感想

- ・交通渋滞の影響を受けることなく、イライラしない通勤ができた。
- ・バスは自分に無関係な乗り物だと思っていたが、移動の際の選択肢に入るようになった。
- ・移動時間を読書等で有効に活用できるなど、メリットがあることがわかった。
- ・使ってみるとバスもそれほど不便な乗り物ではないと分かった。

否定的な感想

- ・帰宅時間が不規則なため、時間が決まっている公共交通通勤は困難と感じた。
- ・自宅から最寄駅までの距離が遠く不便。運行本数が少なく、運賃も高すぎる。
- ・公共交通利用は、マイカーよりも時間がかかるため、毎日の利用は不可能。
- ・費用負担が大きく、毎日の利用は無理。

転換への課題

- ・公共交通機関の利便性（朝・夜便数、運行時間の拡張）の向上が必要。
- ・マイカーと比べると、公共交通による通勤は時間がかかり不便だと感じた。
- ・甲府駅を中心にバスが走っているため、中心市街地以外は公共交通への転換は困難。
- ・遠距離になると料金が高いため、公共交通通勤は現実的でない。